様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回豊川警察署協議会
日時・場所	令和７年５月23日(金)午後３時から午後５時　愛知県豊川警察署
出　席　者	１　委員　10名（定数10名） 櫻井 智科子委員、SUZUKI MARY MARIE委員 梅村 賀代子委員、岩瀬 崇典委員、紋田 栞里委員 菊地 俊介委員、岩瀬 晴彦委員、渡辺 稔明委員 米谷 景子委員、ナカガワ THERESA MARIE委員
	２　警察署員　９名 伊東署長　山下副署長　渡辺警務課長 與語会計課長　牧野生活安全課長　三浦地域課長 高橋刑事課長　坂野交通課長　尾崎警備課長
	３　有識者等 なし

１　署長挨拶
２　署幹部紹介
３　前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況
(1) 協議事項
交番等地域警察における情報発信のあり方
(2) 意見・要望事項
ア　交番活動、交番所在地等を身近に感じられる情報発信
イ　家族構成、年齢、性別などによりターゲットを絞り、かつ犯罪防止等に関するより具体的な情報発信
(3) 推進施策
ア　広報紙を配布し掲示を依頼
イ　各課と連携したキャンペーンにおける情報発信
ウ　小学生に対する警察官のお仕事説明
エ　巡回連絡における情報発信
オ　地域会合や意見交換会での情報発信
カ　ＳＮＳを活用した情報発信
キ　交通違反者に対する具体的な教養
ク　交通見守り活動

様式第９（続紙）

４　協議事項

歩行者に対する交通事故抑止対策

５　発言の要旨

・　本人たちが気をつける。ルールを守ることが最も重要である。
・　高齢者の横断中の事故は認知のずれが原因だと思う。
・　認知のずれを客観的に理解し体験できるような教育イベントが必要である。
・　歩行環境シミュレータを活用すれば安全な横断方法や、自らの安全を守る意識の向上が図れるのではないか。
・　小学校、中学生を対象とした交通安全教室や、高齢者を対象とした交通安全講話など、学べる場が多ければ意識は変わる。
・　交通安全教室などで、道路の渡り方や自転車に乗る時のヘルメット着用の重要性を周知して欲しい。
・　小学校の登下校の見守り活動も安心につながる。
・　高齢者が集まる場所やイベントに的を絞って交通講話等を行うと良いのではないか。
・　高齢者は、交通安全に対する意識が高まれば、小学生のお手本になろうとする。お手本になろうとすればさらに気をつけるようになる。
・　時間帯によって活動している年齢層が違うと思う。高齢者が活動する時間帯を狙って地域で見守ってあげたい。
・　生活道路や時間帯を絞っての啓蒙は効果的だと思う。
・　交通事故が多発する場所へ看板等を設置し、注意喚起すると良いのではないか。
・　危険性がわかる情報が必要だと思う。交通事故が多発するエリアや、危険箇所などの情報を周知してもらいたい。

６　答申等の概要

(1) 高齢者に対し、歩行環境シミュレータ等を活用するなど安全な横断方法や自ら安全を守る意識の高揚を図る。
(2) 小学校、中学生を対象とした交通安全教室や、高齢者交通安全講話を通して道路の渡り方や自転車乗車時のヘルメット着用の重要性を説明し、ヘルメット着用率の向上を図る。
(3) 登下校中の通学路における子供の見守り活動や、可搬式速度違反自動取締装置などを用いた積極的な指導取締りを実施する。
(4) 事故多発エリアや危険箇所の周知を図る。

７　その他

次回開催予定

令和７年９月８日

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。